

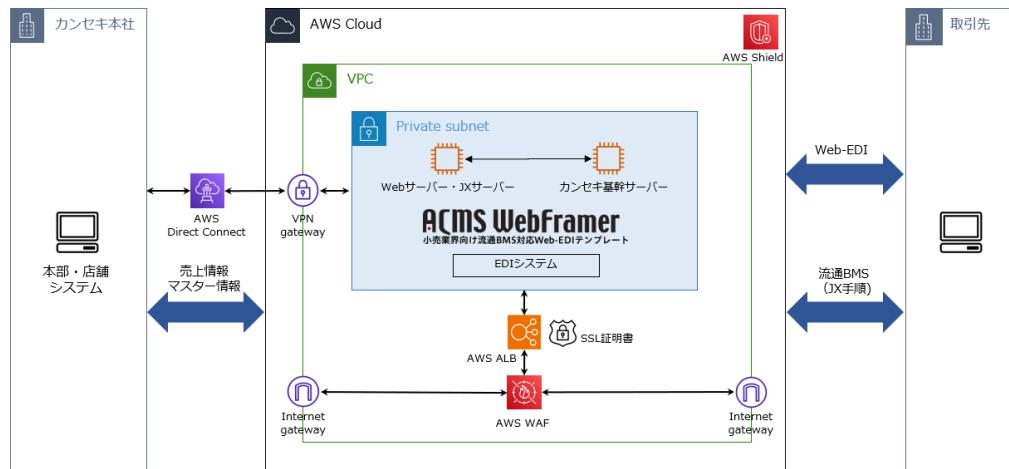
Press Release

2024 年 6 月 18 日

株式会社データ・アプリケーション

**株式会社カンセキ、流通 BMS を補完する Web-EDI システムを
「ACMS WebFramer」の活用により短期間で構築
～発注・仕入業務の効率化により業務コストを大幅に削減～**

株式会社データ・アプリケーション(本社: 東京都中央区、代表取締役社長: 安原 武志、略称:DAL、スタンダード市場: 3848)は、株式会社カンセキ(本社: 栃木県宇都宮市、代表取締役社長 大田垣 一郎、以下、カンセキ)が、流通 BMS を補完する Web-EDI システムを構築するためにエンタープライズ Web-EDI システム基盤「ACMS WebFramer」を採用したことをお知らせします。



カンセキの流通 BMS システム構成図

【課題と背景】

カンセキは、栃木県を中心にビジネスを展開する創業 50 年の小売企業です。2023 年 2 月、カンセキは 2024 年 1 月の NTT 東西による固定電話の IP 網移行に伴い、EOS(Electronic Ordering System: 電子発注システム)で自動発注を行っている仕入先を対象に、流通 BMS への移行を決断。また、積年の課題であった発注業務のペーパーレス化や属人化の解消、コスト削減も目指しました。

これらの実現にむけて、発注を自動化できる仕入先を増やすことを検討し、流通 BMS の補完策である Web-EDI システムの導入を進めました。Web-EDI システムを選択するにあたり、7 社の提案から 3 社に絞り、最終的に、DAL のエンタープライズ Web-EDI システム基盤「ACMS WebFramer」を採用。流通 BMS における Web-EDI 基本方針に対応した業務テンプレート「ACMS WebFramer 小売業界向け流通 BMS 対応 Web-EDI テンプレート(以下、流通 BMS 対応 Web-EDI テンプレート)」があることが決め手となりました。

【ACMS WebFramer 導入効果】

1. 流通 BMS 対応 Web-EDI テンプレートの活用により、開発の負荷を軽減し、短期間で Web-EDI システムを構築。
2. 流通 BMS 対応 Web-EDI テンプレートは仕様に柔軟性があり、EOS で実装していた仕入先への支払明細書の公開やインボイス制度対応など、求める要件をカスタマイズせずに標準機能の設定変更だけで実現。
3. Web-EDI システムを採用する企業は多く見積もっても 50 社程度と想定していたが、実際は 100 社の仕入先が Web-EDI システムの利用を希望し、発注・仕入業務の大幅なコスト削減や伝票入力の省力化など業務改善に成功。
4. 流通 BMS 対応と Web-EDI システム構築を機に現場での検収を廃止したことにより、週 60 時間の労務時間を削減。

カンセキは、さらなる発注業務のシステム化を進めること考えており、将来的には、卸・メーカーからの出荷から始まる出荷開始型モデルの導入や、蓄積したデータを使った発注分析なども検討しています。

DAL では今後も、業界やお客様のニーズに向き合い、インターネット EDI への移行や Web による企業間取引のペーパーレス化、デジタル化、データ利活用など、ビジネススピードを高める企業の DX を支援してまいります。

以上

■株式会社カンセキ様の導入事例

<https://www.dal.co.jp/casestudies/53kanseki/>

■エンタープライズ Web-EDI システム基盤「ACMS WebFramer」について

<https://www.dal.co.jp/products/webedi/webframer/outline.html>

■ACMS WebFramer 小売業界向け流通 BMS 対応 Web-EDI テンプレート

<https://www.dal.co.jp/products/webedi/template/outline.html>

【株式会社カンセキについて】

カンセキは、栃木県を中心にビジネスを展開する創業 50 年の小売企業です。1975 年の創業より主力であるホームセンター事業を核に、アウトドア専門店事業、飲食店事業、フランチャイズ事業を営み、2024 年 1 月現在、計 81 の店舗を運営しています。カンセキという社名は、創業者である服部吉雄氏が茨城県勝田市(現・ひたちなか市)で起業していた石油製品販売会社「関東石油販売」の“関”“石”から取ったものです。同社は、独自のネットワーク型業態融合をめざしており、複数の業態を組み合わせることで、日常の快適な暮らしの創造から、人生を豊かにするライフスタイルの提案までさまざまな顧客ニーズに対応しています。地域のスポーツ振興にも貢献しており、栃木県総合運動公園陸上競技場の命名権を取得、「カンセキスタジアムとちぎ」という名で知られています。

【HP】<https://www.kanseki.co.jp/>

【株式会社データ・アプリケーション(DAL)について】

DAL は、1992 年に UNIX 向けの製品をリリースして以来、EDI(電子データ交換)を中心にデータ連携分野において信頼性の高いパッケージソフトウェア「ACMS (Advanced Communication Management System) シリーズ」を提供し、国内の EDI ソフトウェア市場でリーダーシップを確立しています。企業間・部門間・クラウド・SaaS など分散したデータをボーダーレスにつなげるデータ連携ソリューションは、すでに 2,933 社 14,571 サイトを越える企業のミッションクリティカルなシステムで稼働しています。

(導入数:2023 年 6 月末時点)

【HP】<https://www.dal.co.jp/>

【Facebook】<https://www.facebook.com/DataApplications/>

【X】https://twitter.com/dal_acms

【note】<https://note.com/dataapplications/>

【本件についてのお問い合わせ先】

報道関係	お客様
マーケティング本部	営業本部
Tel:03-6370-0909	Tel:03-6370-0909
Fax:03-3271-0066	Fax:03-3271-0066
E-Mail:pr@dal.co.jp	E-Mail:sales@dal.co.jp

※DAL, ACMS, ACMS Apex, AnyTran, E²X, WebFramer, RACCOON, OCRtran, Placul は、

株式会社データ・アプリケーションの日本および海外での商標または登録商標です。

※本文中に記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。